

22

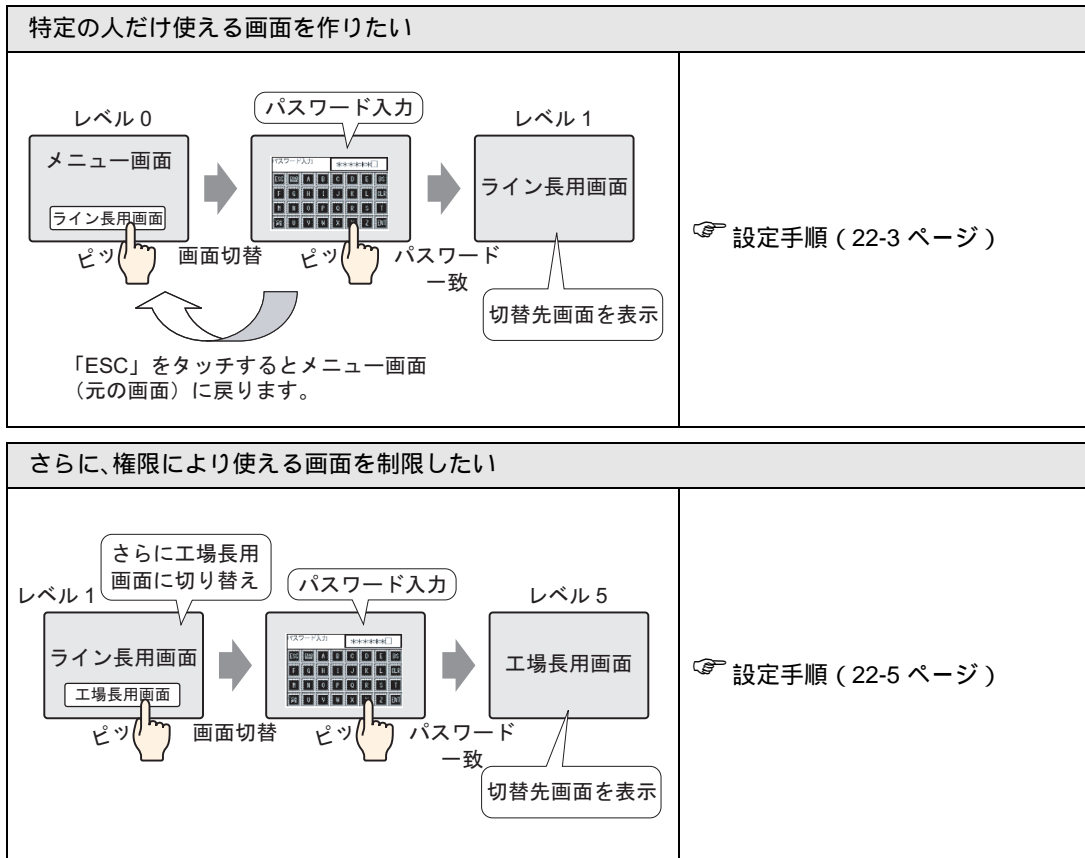
パスワードを入力して画面を切り替えたい

この章では、GP-Pro EXの「パスワードを入力して画面を切り替えたい」についての基本的な説明と、設定変更のための基本操作について説明します。

まず「22.1 設定メニュー」(22-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んでください。

| | | |
|------|---------------------------|-------|
| 22.1 | 設定メニュー..... | 22-2 |
| 22.2 | 特定の人だけ使える画面を作りたい..... | 22-3 |
| 22.3 | さらに、権限により使える画面を制限したい..... | 22-5 |
| 22.4 | パスワード入力ウィンドウについて..... | 22-7 |
| 22.5 | 共通設定(セキュリティ設定)の設定ガイド..... | 22-9 |
| 22.6 | 制限事項..... | 22-12 |

22.1 設定メニュー



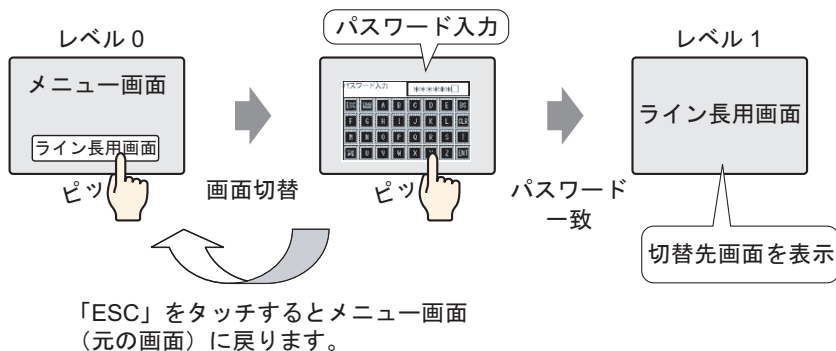
22.2 特定の人だけ使える画面を作りたい

22.2.1 設定手順

MEMO


- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 ☞「22.5 共通設定（セキュリティ設定）の設定ガイド」（22-9 ページ）

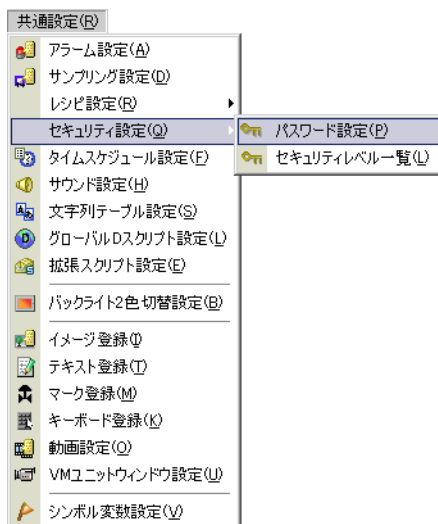
ライン長用画面（画面番号：B2）にセキュリティレベル1 とパスワード（1111）を設定します。



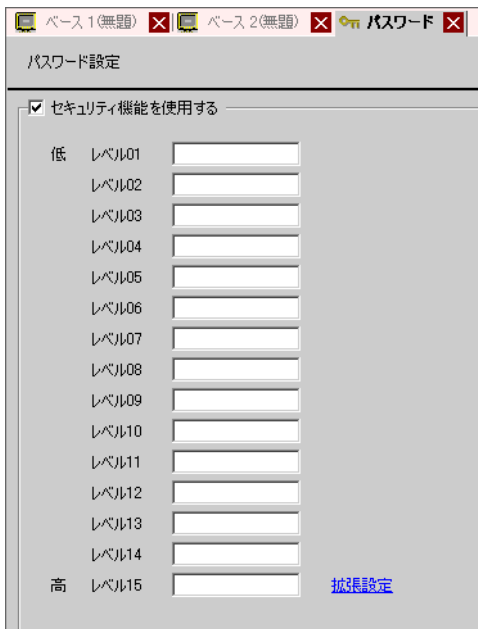
MEMO

- セキュリティレベル0は、セキュリティがかかっていない状態です。

- 1 [共通設定 (R)] メニューの [セキュリティ設定 (Q)] から [パスワード設定 (P)] を選択するか、ツールバーの  をクリックします。



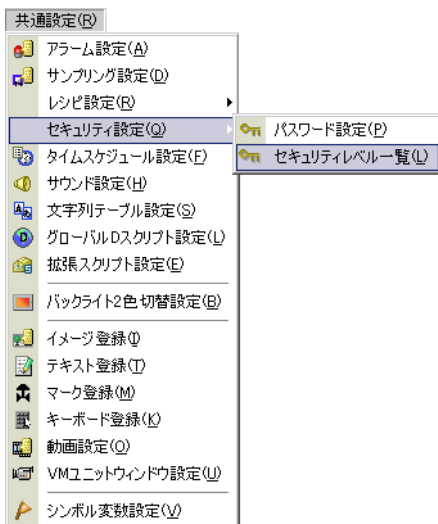
- 2 パスワード設定画面が開きます。[セキュリティ機能を使用する]にチェックを入れ、[レベル01]にパスワード「1111」を入力します。



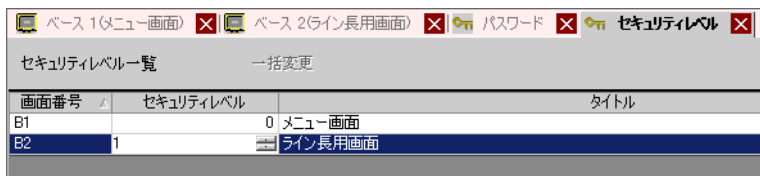
MEMO

- パスワードは英数字 8 文字以内で設定してください。

- 3 [共通設定 (R)] メニューの [セキュリティ設定 (Q)] から [セキュリティレベル一覧 (L)] を選択します。



- 4 ライン長用画面（画面番号：B2）の [セキュリティレベル] を「1」に設定して完了です。



22.3 さらに、権限により使える画面を制限したい

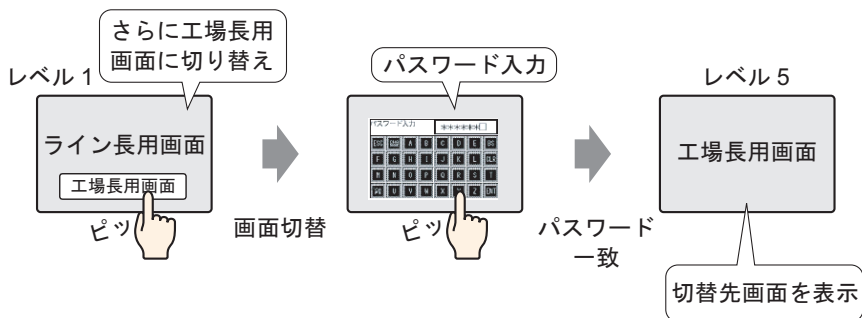
22.3.1 設定手順


MEMO

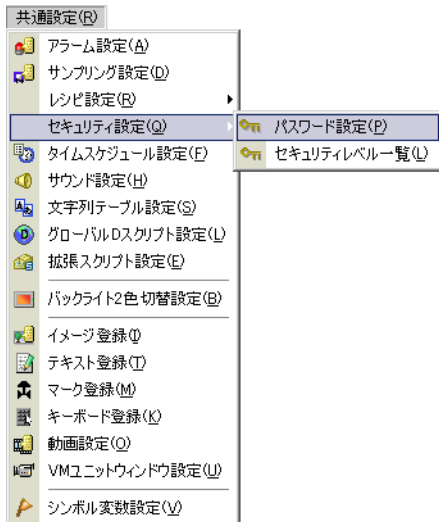
- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「22.5 共通設定 (セキュリティ設定) の設定ガイド」(22-9 ページ)

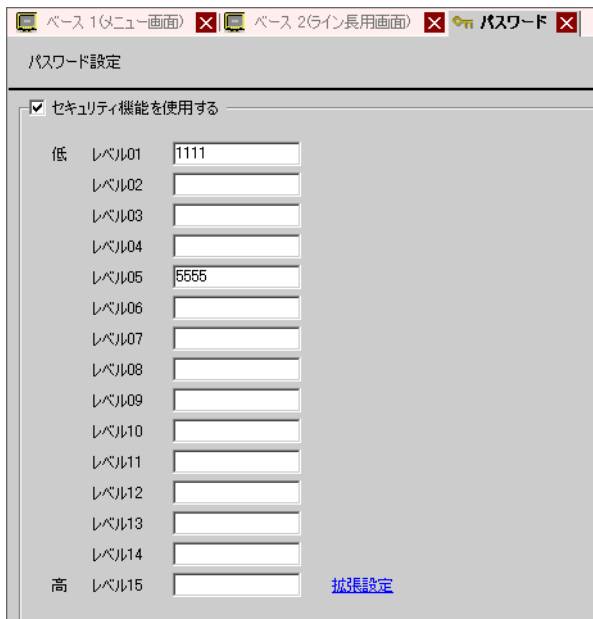
工場長用画面 (画面番号 : B3) にセキュリティレベル 5 とパスワード (5555) を設定します。



- 1 [共通設定 (R)] メニューの [セキュリティ設定 (Q)] から [パスワード設定 (P)] を選択するか、ツールバーの  をクリックします。



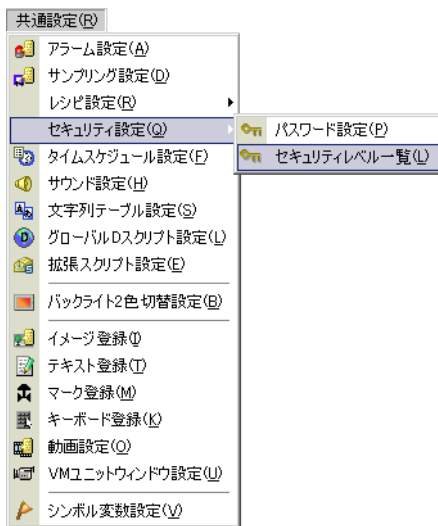
- 2 パスワード設定画面が開きます。[セキュリティ機能を使用する]にチェックを入れ、[レベル01]にパスワード「1111」を、[レベル05]にパスワード「5555」を入力します。



MEMO

- パスワードは英数字 8 文字以内で設定してください。

- 3 [共通設定 (R)] メニューの [セキュリティ設定 (Q)] から [セキュリティレベル一覧 (L)] を選択します。



- 4 ライン長用画面（画面番号：B2）の[セキュリティレベル]に「1」を、工場長用画面（画面番号：B3）に「5」を設定して完了です。

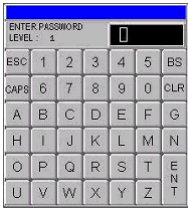
| 画面番号 | セキュリティレベル | タイトル |
|------|-----------|---------|
| B1 | 0 | メニュー画面 |
| B2 | 1 | ライン長用画面 |
| B3 | 5 | 工場長用画面 |

22.4 パスワード入力ウィンドウについて


22.4.1 パスワード入力ウィンドウのご紹介

パスワード入力ウィンドウは、現在表示している画面よりセキュリティレベルの高い画面を表示しようとしたときに自動的に表示されます。パスワードを入力すると * 印で表示します。



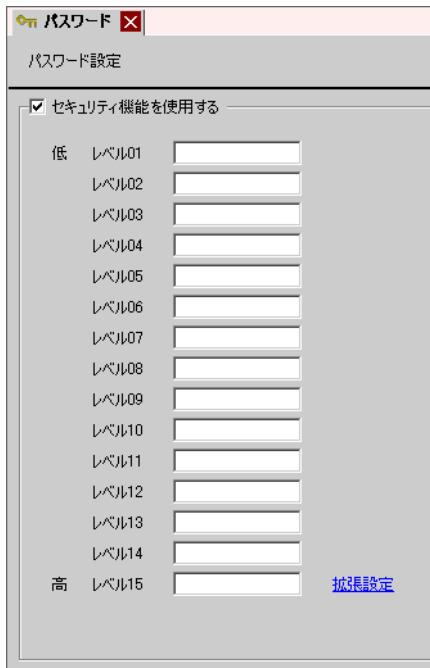
| 表示 | 内容 |
|------|--|
| ESC | <p>パスワード入力をキャンセルし、パスワード入力ウィンドウを閉じます。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">  </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 50px 20px; text-align: center;">元の画面</div> </div> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> タッチによる画面切り替えと接続機器からの画面切り替えを併用する場合は、システム設定ウィンドウの[本体設定] - [表示設定]タブで、[接続機器へ反映]にチェックが入っているか確認してください。チェックが入っていないと、接続機器から画面切り替えを行った場合に、[ESC]キーを押してもキャンセルできません。 <p>☞「5.14.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド 表示設定・画面設定」(5-109 ページ)</p> |
| CAPS | <p>大文字 / 小文字を切り替えます。[CAPS] キーが黒色反転表示されている場合は、小文字入力になります。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字 / 小文字を切り替えた際も、キーボードは大文字表示のまま変化しません。 |
| ENT | <p>入力したパスワードを確認します。</p> |

次のページに続きます。

| 表示 | 内容 | | | | | | |
|----------------------------|--|------------------|----------------------|--------------|--------|----------------------|------------------|
| <p>LEVEL (要求レベル表示)</p> | <p>表示しようとしている画面のセキュリティレベル(要求レベル)を表示します。</p>  <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部デバイスアドレスを用いて現在のレベルおよび要求レベルを知ることができます。それぞれのレベルの値は以下の内部デバイスアドレスに格納されています。 <table border="0" data-bbox="484 581 1177 649"> <tr> <td>LS9301</td> <td><input type="text"/></td> <td>現在のセキュリティレベル</td> </tr> <tr> <td>LS9302</td> <td><input type="text"/></td> <td>要求されているセキュリティレベル</td> </tr> </table> <p>LS9301、LS9302 は読み込み専用です。LS9302 にはパスワードの要求があった場合にセキュリティレベルが格納され、パスワードの入力が終わると0に戻ります。</p> | LS9301 | <input type="text"/> | 現在のセキュリティレベル | LS9302 | <input type="text"/> | 要求されているセキュリティレベル |
| LS9301 | <input type="text"/> | 現在のセキュリティレベル | | | | | |
| LS9302 | <input type="text"/> | 要求されているセキュリティレベル | | | | | |

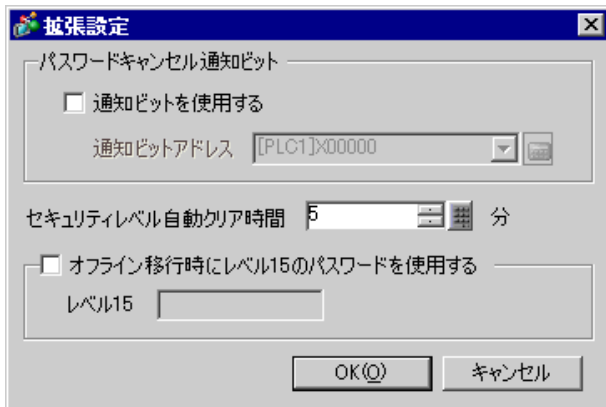
22.5 共通設定（セキュリティ設定）の設定ガイド

22.5.1 パスワード設定



| 設定項目 | 設定内容 |
|-----------------|--|
| セキュリティ機能を使用する | セキュリティ機能を使用するかどうかを指定します。 |
| レベル 01 ~ レベル 15 | <p>セキュリティレベル 1 ~ 15 にパスワードを指定します。入力できるパスワードは英数字 8 文字以内です。大文字、小文字は区別されません。</p> <p>パスワードは必要なレベルだけを設定できます。すべてのレベルを設定する必要はありません。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じパスワードを複数のセキュリティレベルに指定できません。 • セキュリティレベル 15 にパスワードを設定しておく、GP 上（オフラインモード）ですべてのセキュリティレベルのパスワード変更ができます。 |
| 拡張設定 | <p>[拡張設定] ダイアログボックスを表示します。</p> <p>☞ 「 拡張設定 」 (22-10 ページ)</p> |

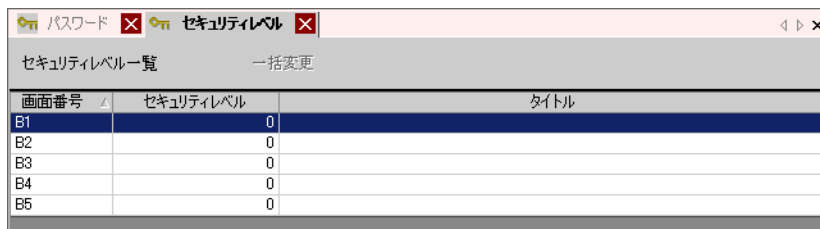
拡張設定

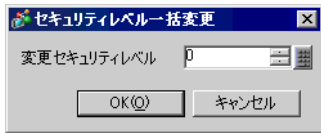
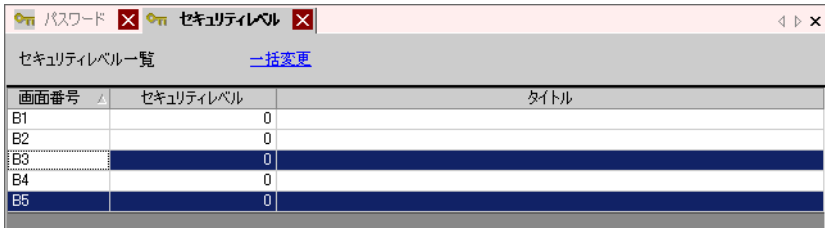


| 設定項目 | 設定内容 | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|--------------------|---|--|--------|--------|--------------------|--------|--|-------------------|
| 通知ビットを使用する | 接続機器から画面切り替えを行って表示されたパスワード入力ウィンドウが、[ESC] キーによってキャンセルされたことを通知する機能を使用する場合に指定します。 タッチによる画面切り替え時には動作しません。 | | | | | | | | | |
| 通知ビットアドレス | 接続機器からの制御で表示されたパスワード入力ウィンドウを [ESC] キーでキャンセルした場合、指定した通知ビットアドレスが ON します。 システム設定ウィンドウの「本体設定」-「表示設定」タブで、「接続機器へ反映」を設定していない場合は、この通知ビット ON を監視して、接続機器にて「切替画面番号」 ¹ を「表示中画面番号」と同じ番号に戻す処理を行ってください。同一の画面番号に戻るとパスワード入力ウィンドウが自動的に閉じます。 | | | | | | | | | |
| セキュリティレベル自動クリア時間 | 指定した時間で GP 上での操作や画面切り替えなどが行われない場合にセキュリティレベルを 0 に戻します。自動クリア時間は、1 ~ 60 分で指定できます。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> 自動クリア時間が「0」に設定されている場合、セキュリティレベルの自動クリアを行いません。 内部デバイスアドレスのビット操作でクリア LS9300 の 0 ビット目を OFF → ON するとセキュリティレベルのクリアが行われ、LS9301 に格納されている現在のセキュリティレベルが 0 になります。セキュリティレベルのクリア完了後、LS9300 の 0 ビット目を OFF に戻してください。（LS9301 は読み込み専用です） <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">LS9300</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">予約 (0)</td> <td style="border: none;">+ セキュリティレベルのクリアビット</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">LS9301</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="border: none;">+ 現在のセキュリティレベルを格納</td> </tr> </table> | | 0 | | LS9300 | 予約 (0) | + セキュリティレベルのクリアビット | LS9301 | | + 現在のセキュリティレベルを格納 |
| | 0 | | | | | | | | | |
| LS9300 | 予約 (0) | + セキュリティレベルのクリアビット | | | | | | | | |
| LS9301 | | + 現在のセキュリティレベルを格納 | | | | | | | | |
| オフライン移行時にレベル 15 のパスワードを使用する | オフラインへ移行する時にセキュリティレベル 15 のパスワードを要求するかどうかを指定します。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> セキュリティレベル 15 のパスワードを入力してオフラインへ移行した場合、運転を再開する際はセキュリティレベルは自動的に 0 に戻ります。 | | | | | | | | | |
| レベル 15 | セキュリティレベル 15 のパスワードを指定します。 | | | | | | | | | |

1 「切替画面番号」を接続機器で操作するにはシステムデータエリアを設定してください。
 「5.14.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド システムエリア設定」(5-129 ページ)

22.5.2 セキュリティレベル一覧



| 設定項目 | 設定内容 |
|-----------|--|
| 画面番号 | 作成された画面番号が表示されます。 |
| セキュリティレベル | <p>各画面のセキュリティレベルを設定します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の画面に同じセキュリティレベルを設定する場合は [一括変換] をご使用ください。 |
| タイトル | 各画面のタイトルが表示されます。 |
| 一括変換 | <p>セキュリティレベルを一括で変換します。変換する複数の画面を選択し、[一括変換] をクリックすると、セキュリティレベルを指定するダイアログボックスが表示されます。</p>  <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の画面を選択するには、カーソルをドラッグするか、Ctrl キーを押しながら行を選択します。  |

22.6 制限事項

22.6.1 パスワード入力ウィンドウの制限事項

- パスワード入力ウィンドウは編集できません。
- 接続機器からパスワードを入力することはできません。
- バーコードリーダーからパスワードを入力することはできません。
- パスワード入力ウィンドウを表示中にローカルウィンドウまたはグローバルウィンドウの起動ビットがONした場合は、パスワード入力ウィンドウが閉じてから表示されます。
- セキュリティレベルを設定したウィンドウ画面を呼び出すためのウィンドウ部品には、[常時読み込み]を設定しないでください。設定してもGP上にパスワード入力ウィンドウは表示されず、セキュリティ機能が動作しません。
- パスワードを登録していないセキュリティレベルを画面に設定した場合、その画面のセキュリティレベル以上のパスワードを入力しないと画面が表示できません。
表示したい画面以上のセキュリティレベルのパスワードが登録されていなかった場合は、画面を切り替えることができません。

例1 パスワードを以下のように設定し、レベル4の画面に切り替える場合

| | |
|---------|------|
| レベル1 | AAAA |
| レベル2 | BBBB |
| レベル3 | CCCC |
| レベル4～14 | なし |
| レベル15 | ZZZZ |

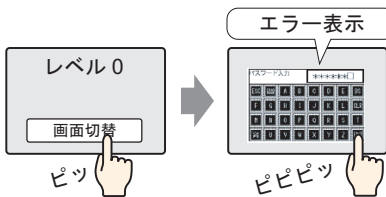


レベル15のパスワードを入力

レベル4以上のパスワードがあるので、画面切り替えは可能

例2 パスワードを以下のように設定し、レベル4の画面に切り替える場合

| | |
|---------|------|
| レベル1 | AAAA |
| レベル2 | BBBB |
| レベル3 | CCCC |
| レベル4～15 | なし |



何を入力しても切り替わらない
[ESC]キーをタッチして元の画面に
戻る

レベル4以上のパスワードがないので、画面切り替えできない

GP電源投入時に最初に表示する画面（初期画面）にセキュリティレベルを設定した場合は、初期画面を表示してからパスワード入力ウィンドウが表示されるため、パスワード入力ウィンドウ表示中も初期画面の動作は行われています。また表示されたパスワード入力ウィンドウは[ESC]キーでキャンセルすることができません。正しいパスワード入力が必要です。